

第34回 国際農業機械展に行ってきました

平成30年7月12日(木)~16日(月)に帯広で開催された国際農業機械展に行ってきました。4年に1回の開催という事で、農業機械メーカーのオリンピックといったところです。今年のテーマは「ICT とともに更なる未来へ」という事で、各社とも近未来型の機械を展示していました。

トラクターは「デカイ」ものと「ハイテク」、「省エネ」のものとバラエティーに富んだ展示でした。北海道だけあってトラクターメーカーの展示は圧巻でした。初日には各メーカーのトラクターの無人走行パレードも行っていました。



酪農機器は、各社次世代タイプの搾乳ロボットが中心でした。オリオングループはロータリー型搾乳ロボットの発表、デラバルは新型 VMS、ユーンズ・エージーはアストロノート A5 と次に出てくる新型搾乳ロボットを展示していました。

最近の北海道は、本州と変わらず梅雨があるみたいに、7月のこの時期は雨が多く、天候には恵まれなかったですが、それでも人の出は多く、期間通して20万1000人の前を上回る人出になりました。

出展社、関係各位におかれましては本当にご苦勞様でしたと言いたいですし、丁寧なご説明に感謝の気持ちでいっぱいです。ICT 元年と位置付ける機械展でしたし、それをどのように現場で応用し活用していけるのが我々の知恵の出どころだと思っています。

